

ヒアリングフレイルの予防のために



早めに耳鼻咽喉科を受診しましょう。

ヒアリングフレイルとは？

- ・加齢に伴い聴力が低下したことが原因で会話が減少したり、自信を無くしたりすることです。
- ・会話が減少することで、認知機能の低下や外出の頻度が減少して社会的に孤立してしまうリスクが高まります。

なぜ耳鼻咽喉科を受診するの？

- ・聴力の低下の原因は、加齢や一時的なもの（耳垢の詰まり、ストレス、睡眠不足など）など様々です。
早めに専門の医師に相談しましょう。
- ・補聴器は、高齢になればなるほど扱いが難しくなります。

聞こえのチェックリスト&受診勧奨票をやってみよう



当てはまるかどうか確認してみましょう！

チェック内容	該当する場合、 ○を付けましょう
会話をしているとき、聞き返すことがよくありますか。	
相手の言った内容を聞き取れなかったとき、推測で言葉を判断することがありますか。	
電子レンジの「チン」という音や、ドアのチャイムの音が聞こえにくいと感じることがありますか。	
家族に、「テレビやラジオの音量が大きい」とよく言われますか。	
大勢の人がいる場所や周りがうるさい中での会話は、聞きたい人の声が聞きづらいと感じますか。	

1つでも○が付いた方、ご自身の「聞こえ」が気になる方は、耳鼻咽喉科 医師（補聴器相談医）への相談をおすすめします。

補聴器の購入費用を 一部助成します。

令和8年7月
から開始!!



やっち

対象者 以下のいずれにも該当する方。

- ①市内在住の65歳以上の方。 ②市民税が非課税の方。
- ③耳鼻咽喉科の医師により、補聴器の使用が必要と診断された方。
- ④聴覚障害の身体障害者手帳の交付を受けていない方。
- ⑤令和8年4月以降に補聴器を購入した方。

ただし、以下に該当するときは、助成の対象外になります。
・対象者が市の住民基本台帳に記載される前に、費用の助成対象となる補聴器を購入したとき。

助成金額



・補聴器の購入費用
(最大 20,000 円)
を助成。

・医療機器の認証を受けている
補聴器本体の購入費用のみ対象。

手順の流れ

1

相談



お近くの地域包括支援
センターや長寿支援課に相談

2

耳鼻咽喉科 を受診



医師より、補聴器の使用が必要である証明書
(市指定様式)の交付を受けてください。
(証明書等の作成料は自己負担となります。)

3

医療機器の認証を 受けている補聴器の購入

自分に合った補聴器を選びましょう。
補聴器の専門店で相談し、
上手に使う為の助言を受け購入しましょう。

やっち



詳細はこちら



4

市役所で申請

以下の書類の提出が必要です。

1. 申請書
2. 医師が発行した証明書
3. 助成対象補聴器を
購入したことを証する書類



5

助成金が 振り込まれる

審査後決定通知書を送付いたします。

6

定期的に受診

聴力は視力より衰えやすく、自分に
合った補聴器を正しく使用し続ける
ためには定期的な受診が大切です。

「ヒアリングフレイル」は、NPO法人日本ユニバーサル・サウンドデザイン協会を権利者とする登録商標（商標登録第6340673号）です。

問い合わせ：八千代市役所長寿支援課 生きがいサービス班 (047-421-6737)